

平成30年度 町村議会広報研修会 報 告

期 日：平成30年5月23日(水)
会 場：郡山市 ビッグパレットふくしま

プログラム：

1. 読まれる議会だよりの編集と表現ポイント
2. 議会広報紙クリニック

講 師：グラフィックデザイナー 長岡 光弘 氏

出席者：広報常任委員5人

国見町議会

松 浦 和 子 委員長	・ ・ ・ ・ ・	2
東 海 林 一 樹 委員	・ ・ ・ ・ ・	3
八 島 博 正 委員	・ ・ ・ ・ ・	4
佐 藤 定 男 委員	・ ・ ・ ・ ・	5
井 砂 善 榮 委員	・ ・ ・ ・ ・	6

平成30年度町村議会広報研修会報告書

平成30年5月28日

国見町議会議長 東海林一樹様

報告者 松浦和子

【研修内容】「読まれる議会だよりの編集と表現ポイント」

講師：グラフィックデザイナー 長岡光弘氏

- (1) 講義 A：読まれる議会だよりの編集ポイント
- B：読まれる議会だよりの表現ポイント
- C：今後の議会だよりに求められるもの

(2) 議会だよりのクリニック

桑折町・南会津町・会津美里町・埴町・鮫川村の5紙の議会だよりのクリニック

【感想】

- 講義の編集・表現ポイントでは、情報のタイムリー性が重要である。また、議会だよりは、決まった構成なので発行号によっては一つのテーマをまとめて掘り下げる企画を特集してみるのも良い。と言ったお話も興味深く聞いた。また、表紙のデザインは、視線は上から下に行くので、タイトルは大きくしたほうが良いと指摘があった。その他、さまざまな視点からのお話は理解しやすい講義だった。講義の最後に、議会だよりに求められるものとして、絶えず住民目線でのリニューアルの必要性を伺った。
- (2)の議会だよりのクリニックは、4町1村の議会だよりのクリニックが行われ、(1)の講義が解りやすい内容だったため、クリニックもその延長で解説をして頂き大変良かったと思う。先生が少し修正しただけで、全く違う紙面に變化したのには驚いた。充実した広報研修会だった。

以上

平成30年度町村議会広報研修会

平成30年5月28日

国見町議会議長 東海林 一樹

【研修内容】「読まれる議会だよりの編集と表現ポイント」

講師：グラフィックデザイナー 長岡光弘 氏

広報誌づくりの編集ポイントの説明があり、その後桑折町、会津美里町、埴町、南会津町、鮫川町発行の議会だよりを取り上げたクリニックがあり、大変参考になった。

以 上

平成30年度町村議会広報研修会報告書

平成30年5月24日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 八島博正

【研修内容】「読まれる議会だよりの編集と表現ポイント」

講師：グラフィックデザイナー 長岡光弘氏

(1) 講演

- A：読まれる議会だよりの編集ポイント
- B：読まれる議会だよりの表現ポイント
- C：今後の議会だよりに求められるもの

(2) 議会広報紙クリニック

桑折町、南会津町、埴町、会津美里町、鮫川村の議会だよりを各ページごとに論評した。

【感想】

- ・議会だよりは誰のために作るのか、読む人の立場に立って作る。
- ・読んでもらえるための作り方など、わかりやすい講演だった。
- ・議会だよりのクリニックはとてもわかりやすかった。

以上

平成30年度町村議会広報研修会報告書

平成30年5月24日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 佐藤定男

【研修内容】「読まれる議会だよりの編集と表現ポイント」

講師：グラフィックデザイナー 長岡光弘氏

(1) 読まれる議会だよりの編集ポイント

- 情報のタイムリー性が重要で住民の知りたいニーズに応える。
- 情報の集約化を図った紙面構成を心がける。
- 住民の目を惹く見出しと読みやすい本文。(文字数は1文60字前後内に)

(2) 議会だよりの表現のポイント

- 頭に描いたレイアウトを絵に描いて表現を整理する。
- 目立たせたい周りに余白を設定し、視覚的な効果を高める。
- 同一紙面の異なる情報は、囲み罫・罫線等を用いて区分を図る。

(3) 今後の議会だよりに求められるもの

- 限りある議会だよりのページ数では議会情報のすべては掲載できない。
- 議会だよりは情報の要旨を掲載し、詳しい情報はホームページへ誘導する。
- *情報区分ごとにQRコード(2次元バーコード)・URLを表示する。

(4) 議会だよりのクリニック

- 実際に発行された5町村の議会だよりを良い点、改善すべき点を解説。
- 指摘された改善点
- ・文字数が多い部分は短く、情報はまとめて記載する、見た目を意識する等、実務に即した内容であった。

【感想】

- 講義内容は自身のグラフィックデザイナーの視点からが多かったと思う。
- 読み手の興味を引く紙面の作成を心がけていきたい。

以上

平成30年度町村議会広報研修会報告書

平成30年5月28日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 井砂善榮

【研修内容】「読まれる議会だよりの編集と表現ポイント」

講師：グラフィックデザイナー 長岡光弘 氏

○読まれる議会だよりの編集ポイント

- ・住民の知りたいニーズに応える。特集（企画）を設ける。住民参加。
- ・住民の目を惹く見出しと読みやすい本文を意識する。
- ・一般質問の紙面は、質問・答弁の要点を絞った編集を心がける。

○議会だよりの表現のポイント

- ・頭に描いたレイアウト表現をサムネイルで描く。
- ・レイアウト、情報区分を視覚的に訴求する。

○今後の議会だよりに求められるもの

- ・ハブメディアとしての機能とホームページの充実を図っていく。
- ・住民との協働と、絶えず住民目線でリニューアルをしていく。

○議会だよりのクリニック

- ・実際に発行された5町村の議会だよりをクリニック。
解りやすい解説で大変参考になった。

【感想】

- ・研修を受けて、国見の議会だよりの、まずまずではないかと感じた。
- ・今回学んだことを生かして、より良い広報編集に努めていきたい。

以上